

虫 笛

目黒寄生虫館

読者の皆さんはこの目黒寄生虫館をご存知でしょうか？ ここは寄生虫だけを展示している世界で唯一のユニークな博物館です。寄生虫を扱う研究者がここに行っていないとなれば、もぐりであるというくらいに一度は足を運んでもらいたい博物館なのです(図1)。

目黒寄生虫館は、1953年に寄生虫研究者として有名な医師の故亀谷了博士が私財を投入して設立されました。その翌年には財団法人の許可を得、1992年には今の6階の建物に改築されました。そして近年では2001年に登録博物館の許可を得て現在に至ります。今回紹介する理由は、2008年の10月に展示物の照明を改めてリニューアルしたからです。現在の館長は町田昌昭博士(元国立科学博物館)で、館長あいさつに代えて、寄生虫館の紹介をそのまま掲載します。

『皆さんは寄生虫についてどのようなイメージ

をお持ちでしょうか。「きもちのわるいもの」「こわいもの」といったイメージを思い浮かべるかもしれません。この地球上に生息する動植物は互いに無関係に生活しているのではなく、直接あるいは間接的に関連をもった生活をしています。“寄生”もそのような関係の一つです。寄生虫はほかの動物から「住み家」と「食べ物」をもらって生活しています。ですから普通、貸主への害を少なくするように進化します。もし寄生虫が貸主に大きな影響を及ぼせば、自分も生き残れなくなりますので、影響を少なくするような生き方に進化してきました。でも例外はあります。マラリアや住血吸虫のように致命的な害をおよぼすことのある寄生虫も少数ながら存在します。寄生虫は「こわいもの」と思わずに、まずその不思議で巧みな生き方を知ってください。』

つまり、私たちの学会でも関係は無いとは言えないのです。事実、マラリアなどは蚊が媒介しますし、虫が中間宿主になることも多いのです。少し変わった見方をすると、身近な害虫類、例えばチャバネゴキブリやクマネズミも人に寄生していると考えても間違えでは無いと思います。是非、土日でも開館していますし、無料です(いくらでもかまいません。寄付してもらえると助かると思います)。一度、寄生虫の勉強に来てはいかがでしょうか？ 何か有害生物を研究するときのヒントになるかもしれません。

来館に関して、事業内容を紹介します。

- ① 研究活動：寄生虫の生活のしくみを解明するため、分類・形態学的手法を用いて研究しています。また、外部機関との共同研究にも参加し、その成果は関連学会に発表しています。
- ② 展示解説：1階では寄生虫の概念を解説。ロゴマークとなったフタゴムシも陳列されています。2階では代表的な寄生虫の生活史を中心に、多数の液浸標本を陳列しています。この中での目玉は8.8mのサナダ虫でその大き



図1. 寄生虫館全景

さに驚かされます (図 2, 3)。

- ③ 教育普及：夏休みなどを利用して、身近な寄生虫にまつわる体験学習会や講演会を開催しています。
- ④ 標本収集・整理・保存：地下資料室には標本約 45000 点（うち模式標本 1500 点）、図書 6000 冊、論文別刷約 50000 部が所蔵されています。
- ⑤ 標本販売：教育・研究機関の皆様に関り、寄生虫卵やプレパラート標本を販売しております。

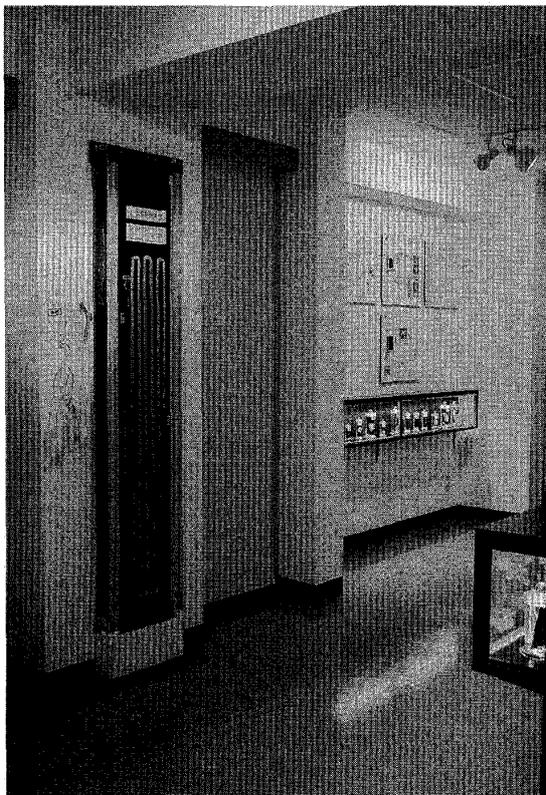


図 2. 世界最長のサナダムシ

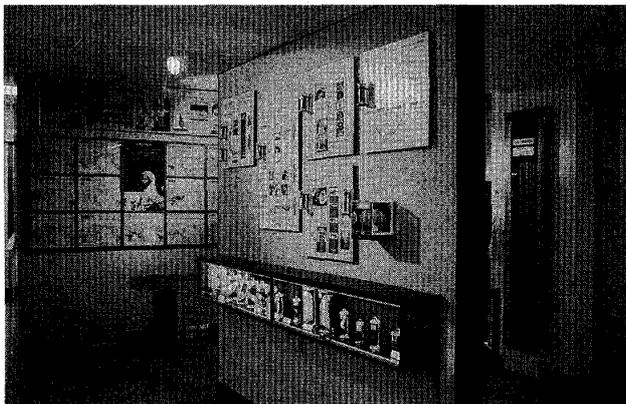


図 3. 展示室

す。

- ⑥ 出版活動：定期刊行物「むしはむしでもはらのむし通信」・専門書「日本における寄生虫学の研究」など出版物も販売しています。
- ⑦ グッズ販売：展示室 2 階のミュージアムショップにてオリジナルグッズ・寄生虫関連図書等を販売中です。

オリジナルデザインの T シャツは全 7 種類。中でも T シャツから浮き出る加工が施されたサナダムシのリアルさは格別です。また、小さな寄生虫の細かい体内を緻密に描かれた柄もシンプルながらインパクトがあります。また、ショップの一番人気は本物の幼虫が中に入った寄生虫キーホルダー。当館の研究者が実際に採取した幼虫が封入されています。標本瓶やフタゴムシの写真をかたどった標本シールやストラップも人気です。そのほか絵葉書・定規など多種多様な商品を取り揃えております。特にこのシンボルであるフタゴムシグッズはカップルに人気の商品です。

興味があれば 1, 2 階の展示室以外にも 3 階に上がると研究室があります。ここには町田館長、荒木研究員、巖城研究員などが日夜寄生虫の研究をしています。お声をかけると気さくに寄生虫の解説をしてもらえます。

なお、特別展として、来年 4 月 26 日より 9 月まで「日本のゴキブリ、世界のゴキブリ展（仮称）」が半年にわたり開催されます。本学会員の富岡康浩氏（イカリ消毒株式会社）、小松謙之氏（株式会社シーアイシー）の貴重な標本が展示される予定です。ゴキブリのイメージが大きく変わる展示になりそうですので、是非この機会に訪れてみて戴きたいと思ひます。

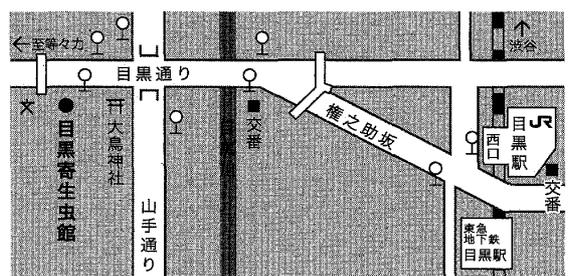


図 4. 地図（目黒駅より徒歩 12 分）

住所: 153-0064 東京都目黒区下目黒 4-1-1

TEL: 03-3716-1264(音声案内)/

FAX: 03-3716-2322

地図: (図 4)

開館日・時間

開館時間: 火曜日～日曜日 午前 10 時～午
後 5 時 (祝祭日も開館)

休館日: 月曜日 (月曜が祝祭日の場合は開館
し、直近の平日休館)

入館料: 無料 (募金箱を設置しています)

(イカリ消毒(株) 技術研究所 谷川 力)